

2026年 安全報告書



新型電気式気動車導入に伴う取扱習熟訓練の様子

 天竜浜名湖鉄道株式会社

1. ごあいさつ

日頃から、天竜浜名湖線をご利用いただくとともに、弊社の運営にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

弊社は2011年8月の遠州天竜舟下り転覆事故を風化させることなく、これを教訓とし「安全・安定した列車運行の確保・継続」を経営方針の最上位に掲げ、安全管理体制や安全教育訓練の再構築、設備投資計画の着実な推進など、社員一同が全力でお客様の信頼確保に努めるとともに、日頃の鉄道運行の安全対策を行っております。

2025年度において弊社をとりまく環境は、施設や車両の老朽化に加え、物価高騰による経費増大の影響により、厳しい状況が続いておりますが、このような状況の中でも、安全の確保を最優先とし、特に遮断機が無く危険な第3種・第4種踏切を解消するため、沿線自治体と連携し地元住民と協議を進め、2箇所の第4種踏切を廃止することができました。また、車両の老朽化対策として、第三セクター鉄道で初となる電気式気動車の導入を開始し、安全・安定輸送を強化してまいります。この車両は将来、動力の転換にも対応できる仕様となっており、国が推進する環境対策（カーボンニュートラル）にも一役担えるものと期待しております。

さて、この安全報告書は鉄道事業法第19条の4に基づき、2025年度の弊社における輸送の安全にかかわる情報を皆様に公表させていただくものです。地域の公共交通機関として安全輸送を維持するために、そして、地域の皆様に愛され親しまれる存在になるために、皆様の率直なご意見やご感想をいただければ幸いです。



天竜浜名湖鉄道株式会社

代表取締役社長 **松井 宜正**

2. 安全確保のための基本方針と重点施策

1. 弊社では、これまでご利用されるお客様方が、使いやすく、交通弱者にやさしく、安心してご利用いただけるよう、「安全」「正確」「共存」を社是として定め、会社運営にあたってまいりました。
運転の安全に関する規範である綱領を、安全方針として定めております。

〔安全方針・綱領〕

- 一. 安全の確保は、輸送の生命である。
 - 二. 規程の遵守は、安全の基礎である。
 - 三. 執務の厳正は、安全の要件である。
2. 2025年度は、以下の安全重点施策の下、公共交通機関としての使命を果たしていくため、経営計画に基づく計画的な設備投資をはじめ、定期的な教育訓練の実施や外部研修等への積極的参加を推進してまいりました。
このほかには、遮断機の設置されていない第4種踏切の廃止に向けた取組みを推進してまいりました。

〔安全重点施策〕

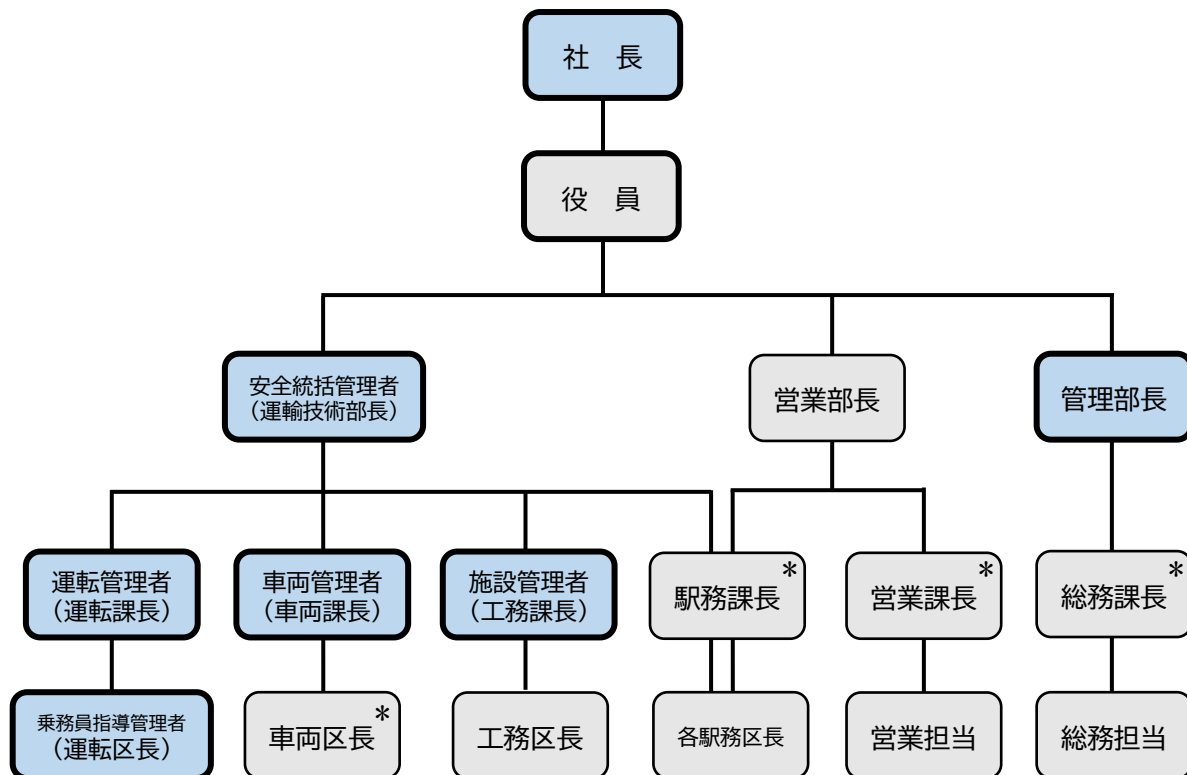
- 安全・安定した列車運行の確保・継続
- (1) 計画的な設備投資の実施による安全性の確保
 - (2) 人材育成の強化
 - (3) 第3種・第4種踏切の廃止等の取組の推進
3. 安全目標として、2025年度は「社員全員で築く責任事故・インシデント『ゼロ』」を掲げて事業を進めてまいりました。
その結果、目標を達成することができました。

3. 弊社の安全管理体制

弊社の安全管理規程に従い、社長をトップとする下表の安全管理体制を設け運用しております。

役職	役割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を担う。
安全統括管理者(運輸技術部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な投資計画、人員計画等に関する業務を統括する。
運転管理者(運転課長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者(工務課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。
車両管理者(車両課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者(運転区長)	運転管理者を補佐し、乗務員の資質について維持管理する。

安全管理体制図



* 上席者が兼務

4. 輸送の安全確保への取組

1. 安全対策委員会

社長を委員長として、各管理者と現場長による安全対策委員会を毎年2回定例会として開催し、輸送障害の原因分析や教育訓練をはじめとする、安全施策の状況確認や諸課題の解決に向け協議を行っております。



2. 内部監査

安全輸送に関する適正な業務執行を徹底させるため、常勤監査役を主任監査員とし、運転・駅務・車両・工務の各部署から社員4名を監査員に任命し、社長以下、各部長、各課長を対象に2025年12月に内部監査を実施いたしました。監査では前年度に引き続き、各部署においてヒヤリ・ハット活動推進の継続が求められました。

3. 交通安全の啓発活動

春と秋の全国交通安全運動期間中は、街頭広報活動の一環として各部門から代表者が参加して天竜二俣駅前において通行者や鉄道利用者に対し、交通安全を呼びかける啓発活動を行いました。

4. 安全衛生パトロール

安全性のさらなる向上を目指すとともに、輸送の安全等に対する意識の高揚を図るため社長、役員、各部長により、施設の管理状況や衛生状況について、自主点検を行ない安全対策の着実な実施を確認しました。



5. 大規模災害復旧訓練

毎年、事故や災害に備えて、全社合同の防災訓練を実施しております。2025年度は静岡県地域防災の日が定められている12月に実施しました。訓練では南海トラフ地震臨時情報が発表されたことを受け、社内における初動体制の確認を行いました。また、地震発生による建物損壊や電源喪失等を想定し、ディーゼル車両を活用した仮設災害対策本部の設営をはじめ旅客の避難誘導、負傷者の救護、火災発生を想定した初期消火活動、社員の安否確認、情報収集など実践的な訓練を実施しました。



6. 第3種、第4種踏切の対策協議

2022年4月に発生した警報機と遮断機がない第4種踏切での踏切死亡事故を機に、遮断機のない第3種踏切も加え、第4種踏切の廃止等に向け、沿線自治体の協力を得ながら地元住民と協議を行っています。2025年度には、2箇所の第4種踏切の廃止を行いました。協議を開始してからこれまで、7箇所の第4種踏切の廃止と、1箇所の第3種踏切の第1種化に至っております。



7. 年間計画に基づいた教育訓練

業務の安全確保に関する能力向上を図るため、安全統括管理者が社員に対する教育訓練の年間計画を策定し、その計画に基づいて、基本作業の習熟や災害発生時の行動に関する実践的な教育訓練を行うほか、各種協会等が実施する外部研修会の受講を積極的に推進しております。教育訓練の実施状況については、月毎の定例会議で進捗状況を確認しております。

2025年度に実施した教育訓練の一例を以下に記載いたします。

○第三セクター合同研修（5月）

中部運輸局様ご指導の下、気動車を運行する中部第三セクター鉄道を対象に、車両の適切な管理方法を学ぶ車両維持管理講習会が弊社車両基地にて開催されました。



○事業者間の合同訓練（9月）

遠州鉄道様、静岡鉄道様との合同脱線復旧訓練を遠州鉄道様の車両工場で行い、作業手順などを相互に学び、鉄道事業者間の連携強化を図りました。



○沿線消防署との合同訓練（11月）

事故や災害などが発生した場合に備え袋井消防署様と連携し合同訓練を実施しました。訓練では気動車特有の構造を把握し安全な救助活動ができるよう訓練しました。



○新型気動車の取扱習熟訓練（1～3月）

新型電気式気動車THG100形の導入に伴い、自社による実務講習及び車両製造元の川崎車両様による実車訓練を、運転士及び車両係員対象に実施しました。※表紙写真参照



5. 2025年度の運転事故・輸送障害等に関する報告

2025年度は、運転事故およびインシデント（事故の兆候）の発生はありませんでした。輸送障害件数は、27件で内訳は、車両関係12件、土木施設1件、電気施設1件、鉄道外の要因7件、自然災害6件となっております。

○2023～2025年度における運転事故、インシデント、輸送障害の発生件数

区分	2023年度	2024年度	2025年度
運転事故	2件	0件	0件
インシデント(事故の兆候)	1件	1件	0件
上記以外の輸送障害	20件	34件	27件

※ 運転事故とは、列車衝突、列車脱線、列車火災などの事故をいいます。

インシデントとは、運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。

輸送障害とは、運転事故以外で運休や30分以上の遅延が生じたものをいいます。

○主な輸送障害その他の概況（10本以上の運休が発生したものを抜粋）

【種 別】 自然災害（震害）

【発生日】 2025年7月30日

【概 要】 カムチャツカ半島の地震に伴い、9時40分に静岡県沿岸に津波警報が発令されたため、弊社規定により天竜二俣駅～新所原駅間の運転を順次中止した。その後、注意報に切り替わったため車両と運転士の運用を整え、22時40分に全線での運行を再開した。

この影響により、上下34本の列車が運休した。

※ 弊社沿線には、汽水湖である浜名湖があり大規模地震が発生した場合、津波からくる潮位上昇により浸水被害が想定されることから、津波警報が発令された場合、一部の区間において運転を見合わせることをしています。

【種 別】車両（電気装置）

【発生日】2025年10月4日

【概 要】 下り列車の運転士は、気賀駅停車時、車両の「中央装置異常」が発生したため直ちに運転指令に通報し電子機器のリセット操作を行った。しかし、復旧しなかったため、救援列車にて当該車両を車両基地に収容した。

この影響により、上下17本の列車が運休し、15本の列車に最大105分の遅延が発生した。

【種 別】鉄道外（その他）

【発生日】2025年10月5日

【概 要】 運転指令室の運行監視装置の警報が鳴動したため確認したところ、三ヶ日駅～新所原駅間に閉そく故障が発生していた。運転指令は直ちに三ヶ日駅～新所原駅間の運転を中止し、係員を派遣して原因を調査させた。その結果、同区間にある踏切付近の通信ケーブルの断線を発見した。復旧作業が終了し14時15分に運転を再開した。ケーブルの断線は沿線住民の草刈活動中の草刈り機による誤切断であった。

この影響により、上下13本の列車が運休し、2本の列車に最大10分の遅延が発生した。

【種 別】土木施設（軌道）

【発生日】2026年3月20日

【概 要】 上り列車の運転士は、金指駅で行違いの下り列車運転士から、「走行音が普段と違う箇所がある」との連絡を受け当該箇所を確認したところ、レール継目が拡大していたため手前で停車し運転指令に連絡した。その後、8時50分に仮復旧作業が終了し運転を再開した。

この影響により、上下12本の列車が運休し、15本の列車に最大111分の遅延が発生した。

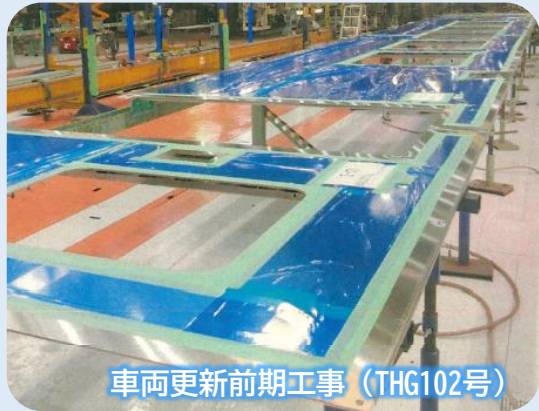
6. 施設整備・保守検査等の計画的な取組

鉄道施設総合安全対策事業費補助などを得て、以下の施設整備、保守検査等を行いました。

整備・検査等の総額	877,690千円
内、施設関係	430,634千円
内、車両関係	447,056千円

区分：設備改修	整備内容
鉄道線路	・レールの重軌条化、PCまくら木交換 ・道床交換、分岐器交換、トンネル漏水対策 ・橋りょう塗装、落石防護など
 レールの重軌条化  分岐器交換  橋りょう塗装  落石防護	

区分:設備改修	整備内容
運転保安設備	・踏切遮断機の交換、踏切器具箱の交換 ・軌道回路改良、通信ケーブルの交換など
 踏切遮断機の交換  軌道回路の改良	

区分:車両整備	整備内容
車両一般	・車両更新後期工事(THG101号:車両完成と輸送搬入) ・車両更新前期工事(THG102号:構体製作) ・重要部検査(計4両)、車輪交換(計3両)など
 車両更新後期工事 (THG101号)  車両更新前期工事 (THG102号)  重要部検査  車輪交換	

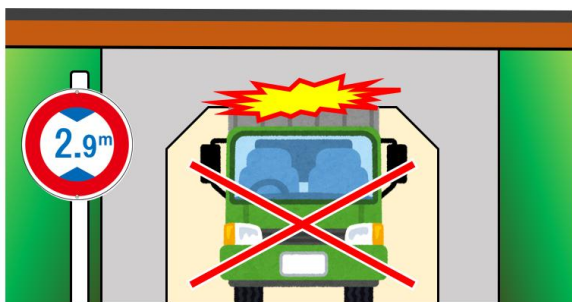
区分:その他	整備内容
保全・保守 その他工事等	・軌道整備、踏切道の改修、雨量計の更新 ・防草シートの設置、支障木の伐採、除草薬散布 ・無人駅放送設備の更新など
 軌道整備	 踏切道の改修
 雨量計の更新	 防草シートの設置
 支障木の伐採	 無人駅放送設備の更新

○各種工事の施工にあたり、沿線住民の皆様にはご理解やご協力を頂いておりますこと、御礼申し上げます。

7. ご利用の皆様・通行される皆様へのお願い

○事故防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ・駆け込み乗車は危険です。余裕をもってホームで列車をお待ちください。
- ・駅構内の通路では、警報機が鳴ったら渡らないでください。
- ・ホーム上の写真撮影で、白線や点字ブロックからカメラ、スマートフォンを線路側へ乗り出して撮影することは、危険ですのでやめましょう。
- ・線路内には、立入らないでください。大変危険です。写真撮影は線路から十分離れた場所で行います。
- ・踏切の前では、一旦停止をして左右と前方を確認してから渡りましょう。
- ・鉄道高架下（ガード）をトラック等で通行する際は、高さ制限に注意してください。もしも、接触した場合は直ちに弊社まで連絡をお願いします。



実際に、このような事故が発生しています。

8. 問い合わせ先

安全報告書へのご意見やご感想は、下記までお寄せください。

〒431-3311

静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2

天竜浜名湖鉄道株式会社

TEL 053-925-6125

（土曜・日曜・祝日を除く、9:00～17:00で受付）

